



国際ロータリーは2月を「世界理解月間」に指定しています。ロータリーの創始者であるポール・ハリスが3人の友人と最初に会合を持った1905年2月23日が「世界理解と平和の日」となり、今日の月間へとつながっています。

国際的な理解を推進し、世界平和を実現するのは古今東西、人類共通の願いであるはずですが、現実には世界各地で相互理解の不足などに起因する争いごとが絶えないのが実情です。ただ、そうした残念な状況に対して「自分一人の力では何もできない」とあきらめてしまうのは早計で、誰かが何かを始めなければ、現存する課題は何も解決しないのも事実です。

幸い私たちロータリアンは、世界平和に貢献することができる様々なプロジェクトを毎年実施しています。世界社会奉仕や国際奉仕、国際親善奨学生や研究グループ交換(GSE)、米山奨学生や青少年交換など、国際理解や世界平和につながる数多くの選択肢を持っています。また海外の姉妹クラブとの友好を深めておられるクラブもあることと存じます。

一つひとつの活動は「世界平和の実現」という大きなテーマには直結しないかもしれませんが、しかしながら千里の道も一歩から、こうした地道な取り組みをコツコツと積み重ねていくことこそが、一番の近道でもあると思うのです。

皆様もロータリークラブが提供するこのような事業に参加いただくことで、世界理解に携わることができるという恵まれた環境にあることを、改めて認識いただければうれしく思います。ロータリークラブに在籍し、大きな夢に向かって少しでも役に立つ活動ができる立場に置かれているというのは、何とも幸福なことではありませんか。

もしもこれらの素晴らしい機会を活かすことができないとすれば、目の前にある人生の大きな喜びを見逃してしまうようで、何とももったいない気が致します。まずは行動に移すこと、すなわち活動に参加してみることで、あなたもその喜びを分かち合ってみませんか。

そうすればきっと、世界をもう少し、理解することができるはずで。そしてあなたの行いは必ずや、胸を張って家族や地域の方たちにも誇ることができるでしょう。皆様のクラブや地区が実施する事業が世界理解に対してどのような効果をもたらすのかを再確認していただくことができれば、たとえ今までそうした活動に関わった経験のない方であっても、自ずと参加意欲が湧き起こってくるものと信じます。

1月はロータリー理解推進月間として、ロータリーの活動についての理解を深めていただきました。そして2月は、世界について理解を深め、ロータリーの活動を世界平和へとつなげていく可能性について、もう一度考えてみていただければ幸いです。